

紀宝町15年の軌跡

本年は、新「紀宝町」が誕生し15周年を迎える節目の年になります。新型コロナウイルスの影響により、15周年記念式典は中止となりましたが、今回の特集では、紀宝町15年の歴史を写真と年表で振り返ります。



旧紀宝町

旧鵜殿村

◆旧紀宝町

昭和29年に井田村、御船村、相野谷村が合併し、旧紀宝町となり、町名は、「みかん、米、木材、有望な漁場など、豊かな農林水産物に恵まれた紀南の宝庫である」ことから名づけられました。



丹鶴城からの風景（昭和20年代）

◆旧鵜殿村

明治27年に宇和野村から分村独立し鵜殿村となり、合併するまでは、村の中では、日本一面積が小さく（？）、88平方キロメートル）、人口密度が高い村で、キャッチフレーズは「港のある日本一小さい村」でした。



鵜殿の町並み（昭和初期）

◆新「紀宝町」の誕生

平成18年1月10日、旧紀宝町と旧鵜殿村が合併し、新「紀宝町」が誕生しました。合併により、人口は約1万3千人、面積は79・62平方キロメートルとなりました。

合併後は、「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」を新町の将来像とし、旧町村がこれまで培ってきた歴史、文化を大切にしながら、町民一人ひとりが地域に誇りと愛着を持ちながら、地域の特性を活かし、みんなが主役となるようまちづくりを進めてきました。



紀宝町は今年で15年目の節目を迎えたよ♪



◆新「紀宝町」のあゆみ

平成23年	1月	紀宝町合併5周年記念式典を生涯学習センターで開催
	2月	町内で鳥インフルエンザ発生
	7月	飯盛保育所建替工事完成 ⑨
	9月	新相野谷トンネル完成 ⑩
平成22年	3月	生活・介護支援サポーター「てまりの会」が発足
	6月	成川屋佐兵衛の墓（史跡）、横手地蔵尊（史跡）、徳本上人名号碑と恵比寿像と灯籠（史跡）、平尾井踊り（無形民俗文化財）、飛雪の滝（名勝）を紀宝町指定文化財に指定
	8月	後期高齢者健康診査の無料化開始
平成21年	3月	土地利用一体型水防災事業（相野谷川輪中堤他）完成
	4月	紀宝町子育て支援センター開設 ③
	10月	町内の3郵便局で住民票などの発行を開始
	5月	児童デイサービス事業「通園めだか」開設
	4月	町営浄化槽整備推進事業開始 ⑦
	3月	新相野谷診療所完成 ⑥
	3月	リサイクルセンター完成 ⑤
平成20年	1月	町の花に「カンラン」、「スイセン」、町の木に「ウバメガシ」を指定
	7月	相野谷川排水機場完成
平成19年	4月	学童保育「きほっこ」開設 ④
	6月	第1次紀宝町総合計画策定
	10月	諸手船（有形民俗文化財）が三重県指定文化財に指定 ③
	8月	紀宝町給食センター増改築工事完成
	5月	新「紀宝町」誕生記念式典を生涯学習センターで開催 ②
平成18年	1月	旧紀宝町、旧鵜殿村が合併し新「紀宝町」誕生 ①
	4月	紀宝町地域包括支援センター設置

僕たちと一緒に紀宝町の歴史を振り返ろう！



開庁式（平成18年1月）